

作業時間を確保する環境の改善

改善事例 1
<食品加工班>

1 授業改善の視点

- 毎回、作業開始前の打ち合わせ（仕事分担や配置の確認など）の時間がどうしても長くなり、十分な作業時間を確保できません。
- 作業が始まって、うまく仕事の流れず、手持ち無沙汰になる生徒がいます。そのため、作業に対する集中力が持続しません。

【現状】



作業前の全体打ち合わせ

- 身支度
- 手洗い
- 衛生チェック
- 打ち合わせ
出席確認
担当、配置の確認



20分もかかっています。

作業開始



【Aさん】

みんなが揃うまで待っていないといけないし、打ち合わせ時間が長くてダラダラした感じです・・・。



2 専門家からのアドバイスと改善の方策

- ホワイトボードに記載してあることや、作業分担の説明を毎回行う必要ありません。生徒が自分で確認し、自分で判断して動けるように学習環境を工夫しましょう。
- 作業時間を確保するために、全体打ち合わせの内容を見直すとともに、身支度が終わった生徒から担当する工程のテーブルに移動して、すぐに作業を開始できるようにしましょう。
- 仕事が途切れないように、各工程で十分な仕事量を確保しましょう。

※教員の関わり方

- 始業時間や作業効率など、教員も時間の意識をもちましょう。
- 教員は生徒と一緒に「仕事」をしながら、生徒の作業状況を確認しましょう。